



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成30年 3月13日発行 第35号

秩父別町2条2丁目 Tel 0164-33-2650

発行責任者：校長 中島 淳

編集：教頭 佐々 謙彰

<web版につき、写真を削除するなど一部修正しています>

母校での学びを胸に 大きく羽ばたけ 若鳥たち

校長 中島 淳

例年にない大雪と厳しい寒さとなった秩父別にも、春の訪れが感じられるようになりました。今年度も残すところあとわずかとなりました。学校では、年度の締めくくりと来年度の準備を進めているところです。3月6日、7日には、公立高校の入学試験が実施されました。（16日に合格発表が行われます。）3年生は、「人事を尽くして天命を待つ」心境かと思います。教職員一同、全員合格を祈っているところです。

さて、いよいよ明日は卒業証書授与式が行われます。3年生16名が本校を巣立って行きます。本校との「別れ」、新たな「旅立ち」、そして、初めて自分の選んだ道の第一歩を歩み出す記念日となります。

卒業証書授与式は、単に卒業証書を手渡すための儀式ではなく、1年間の教育活動の集大成の場であります。全校生徒・教職員が心をつなげて活動できる最後の学校行事です。卒業生と在校生がそれぞれの思いを込めて、感動あふれる素晴らしい卒業証書授与式にしたいと考えています。卒業生16名の前途に幸多かれと心から祈るとともに、本校での学びを胸に、苦楽を共にした全ての方々に、感謝の気持ちを持ち、美しい姿で巣立って欲しいと思います。

さて、卒業生の皆さんには、四月から多くの新しい出会いが待っていると思います。その時には、本校の校訓「至誠力行」を思い出して下さい。真心を持って人に接し、自ら為すべきことに力を尽くして下さい。そうすることで人の信頼を得ることができ、自分の可能性が大きく広がるはずですよ。

これまでお子様の成長を陰日向になり、温かく見守ってこられた保護者・家族の皆様には、15年間におよぶいろいろなことが思い出され、感慨深いものがあるかと思いますが、一生に一度の中学校の卒業証書授与式が、厳粛で感動的な式になるように、ぜひご来校いただき見守っていただければ幸いです。

『ノート、リングブル、タオル寄贈』

2月26日（月）に、JA北いぶき様より卒業生にノートが寄贈されました。また、1日（木）にJA北いぶき女性部様よりリングブル8kgとタオル12枚が寄贈されました。こういった地域からの寄贈は、たいへんありがたいものです。

『同窓会入会式』

9日（金）に、山森同窓会長、藤原副同窓会長をお招きしまして、同窓会入会式を行いました。山森会長の歓迎のあいさつ、校長先生のあいさつのあと、代表の植田くんが誓いの言葉を述べました。統廃合が増えている空知の小中学校で、こういう組織がしっかりと機能していることはたいへん素晴らしいことです。

『盛り上がった卒業生を送る会』

12日（月）に体育館で卒業生を送る会が開かれました。例年、各学年で出し物を企画して3年生に楽しんでもらっていますが、今年は、特に盛り上がりました。

1年生は、ミステリーボックス（箱の中身を当てるゲーム）と格付けチェックを行い、2年生は、CMクイズで、解答権を得るために「西木先生大好き」と大声でアピールし、盛り上がっていました。でも、持っていったのは3年生、最後のお礼のあいさつ、大爆笑でした。